（4）安心できるまちづくり

<u>新規</u>　福祉避難所運営事業

206千円

（担当：社会健康課）

市内に災害が発生した場合などに高齢者や障害者等，一般の避難所では避難生活が困難な住民が安心して避難できる介助機能の整った福祉避難所（ゆうあいホーム）の運営に取り組みます。

<u>新規</u>　障害者（児）福祉施設開設等補助事業

6,000千円

（担当：福祉課）

障害者（児）へのサービスの充実を目的とし，生活介護，就労継続支援，就労移行支援のサービスを法人が市内で事業展開できるよう支援を行います。

<u>新規</u>　三次救急医療施設運営事業

8,966千円

（担当：社会健康課）

生命の危険がある重篤な患者の診療を行う三次救急医療施設であるＪＡ広島総合病院の救命救急センターの運営費の一部を廿日市市と共同で支援することにより，市民の医療と安心安全を確保します。

<u>新規</u>　健康増進計画及び食育推進計画策定事業

4,864千円

（担当：社会健康課）

健康で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすため，予防を重視し，様々な観点から健康をとらえ，新たな健康増進計画を策定します。 また，食育推進計画を策定し，食に関する知識や食生活を正しく市民へ広め，効果的に健康づくりを推進します。

拡充　***予防推進事業***

77,340千円

（担当：社会健康課）

発病や重症化を予防することは，市民の生命や，健康で自立した生活を維持するために大変重要であり，また医療費の抑制にもつながることから，様々な疾病やけがなどへの予防の取り組みを強化していきます。		
予防接種事業	74,797千円	麻しん・風しんや結核，ポリオ，インフルエンザなど，感染の恐れがある疾病の発生や蔓延を予防するために予防接種を行います。インフルエンザ菌ｂ型，小児用肺炎球菌，子宮頸がん等のワクチンについても接種を行います。 また，高齢者向けの肺炎球菌ワクチンの接種費用助成対象者を，７５歳以上から６５歳以上に拡充し，高齢者の肺炎予防に努めます。
在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業	2,543千円	寝たきりの方にとって，食事を自分で噛んで食べることが,栄養面で身体機能の維持に大きく影響することから，歯科医師による訪問歯科健康診査や，歯科衛生士による口腔ケアなどを行い，全身状態の改善や生活自立の向上を図ります。

拡充　***健康増進事業***

49,594千円

（担当：社会健康課）

生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について正しい知識の普及により，市民の健康意識を高めるとともに，医療機関等と連携して市民の健康の保持及び増進を図ります。		
がん検診事業	14,630千円	女性特有のがん検診（子宮頸がん・乳がん）や,大腸がん検診を行います。 肺がん個別健診を医師会と協力しながら取り組む予定です。

一般健診，肝炎ウイルス検診事業	6,274千円	後期高齢者等を対象に健康診査を実施し，生活習慣病予防及び疾病等の早期発見・早期治療を図ります。 また，満40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診未受信者を対象に実施します。
【国民健康保険特別会計】 特定健康診査・特定保健指導	19,596千円	40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対して，メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診及び保健指導を実施し，生活習慣病の予防，改善を図ります。
健康相談事業	192千円	健康診査の事後措置として，保健師や栄養士による個別相談を行い，病気の発生や重症化の予防を図ります。
訪問指導事業	86千円	保健師などによる家庭への訪問指導を行い，健康に関する問題を総合的に把握し，生活改善などの必要な指導を行うことで，疾病の予防を図ります。
健康教育事業	278千円	生活習慣病などの疾病を予防するため，講座や講演会，パンフレット配付などによる啓発を通じて，健康に関する正しい知識の普及を図ります。
後期高齢者人間ドック費用助成事業	2,428千円	後期高齢者医療被保険者に対して，人間ドック・脳ドックの検診費用を一部助成し，生活習慣病の予防及び疾病等の早期発見並びに早期治療を図ります。
新規 糖尿病対策推進事業（緊急雇用対策基金事業を活用）	6,110千円	脳卒中や心臓病など命に関わる病気のほか，失明や人工透析など日常生活に重大な支障をもたらす病気を発症させる原因となる糖尿病の予防又は重症化を防止することにより，市民の健康の保持及び増進を図るとともに医療費の増大を抑制します。

【介護保険特別会計】

地域密着型サービス事業

451,436千円　（担当：社会健康課）

介護が必要な方がなじみの地域で生活できるようなサービスを提供します。基本的に，大竹市民のみが利用可能な介護保険の対象事業所・施設で行われるサービスです。

医療・介護予防一体推進事業

19,371千円　（担当：社会健康課）

健康増進の取り組みと介護予防の取り組みを，様々なプログラムを通じて一体的に行うことにより，介護が必要な方の自立支援を強化するとともに，健康的な市民生活の維持・促進につなげます。

【国民健康保険特別会計】 ヘルスアップ事業	2,090千円	日常生活に運動を取り入れ，健康的な生活が送れるように運動教室等を実施します。
【介護保険特別会計】 介護予防事業	17,281千円	筋力トレーニングや栄養指導などの介護予防に重点を置くことで，介護が必要な状態になることを防ぎ，できる限り自立した生活が送れるよう支援します。

ケーブテレビ見守りサービス事業

351千円　（担当：企画財政課）

ケーブルテレビのネットワークを活用して，一人暮らし高齢者や離れて暮らす家族などの安心感を高めます。自宅のテレビに専用チューナー（STB）を設置してもらい，毎日電源を入れることで，離れて暮らす家族の携帯電話等へ自動的にメール配信するサービスです。

普段の生活の中で大きな負担をかけず，気軽に見守りができる「安心なまちづくり」を進めます。

乳幼児等医療費助成事業

49,025千円　　　　（担当：保険介護課）

　乳幼児及び小学生に対する医療費の自己負担額の一部を助成することにより，疾病の早期発見と治療の促進を図り，乳幼児などの健やかな成長を促します。県制度の改正に準じて，平成16年10月から入院・通院ともに一部負担制を導入し，対象を段階的に拡大していきました。平成22年度から入院・通院ともに小学校卒業までを対象としています。

家庭児童相談事業

7,658千円　　　　（担当：福祉課）

　0歳から18歳未満の児童における養護，障害，非行，育成等の問題について，専門知識を有する相談員が相談・助言を行います。

子育て支援センター運営事業

15,491千円　　　　（担当：福祉課）

　地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として，立戸地区の子育て支援センター（どんぐりＨＯＵＳＥ），栄地区のさかえ子育て支援センター，松ケ原こども館において，育児不安に対する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行います。

救急医療施設人材（助産師等）育成支援事業

753千円　　　　（担当：社会健康課）

　広島西二次保健医療圏（大竹市・廿日市市）の拠点病院であるＪＡ広島総合病院の産科医療体制等を充実させるため，不足している助産師及び看護師を育成・確保する同病院実施の人材確保事業（奨学金制度）に対して補助を行います。

妊婦乳幼児健康診査事業

20,873千円

（担当：社会健康課）

妊婦並びに乳幼児の健康の保持・増進を図るため，妊婦健康診査並びに乳幼児健康診査の受診券を配付します。異常の早期発見を促すとともに，一層の母子の健康維持・増進を図ります。

妊産婦健康診査等支援事業

5,588千円

（担当：社会健康課）

大竹に暮らしながら，安心して出産に備えることができるよう，出産費用等の一部を助成します。妊婦健康診査の受診回数に応じて助成することにより，妊婦健康診査の受診を促し，より安全な出産が行えるように支援します。

【介護保険特別会計】

地域包括支援センター運営事業

29,376千円

（担当：保健介護課）

地域の高齢者に対して，介護が必要な状態にならないよう介護予防ケアマネジメントを行ったり，介護保険外のサービスを含む高齢者や家族への総合的な相談・支援を行ったり，高齢者の虐待防止などの権利擁護を行うほか，ケアマネジャーへの支援などを行います。